



発行所
 太平山頂上鎮座
 太平山三吉神社総本宮
 宮司 田村 泰 教
 秋田市広面字赤沼3の2
 電 話 (018) 834-3443
 F A X (018) 835-6864
<http://www.miyoshi.or.jp>



雪の太平山

(渡邊 仁 氏撮影)

宮司 田村 泰 教

震災後初の国賓となるブータン国王夫妻の訪日。非常に爽やかな印象と共に、国会での演説では、私たち日本人を大いに勇気付けてくれた。一般にはなじみの薄い国だが、非常に親日的で、震災翌日には国をあげて慰霊祭を斎行頂いたそうだ。▽一連の報道で国情を知るにつれ、何より感銘したのは前国王が提唱された「国民総幸福量」という考え。「経済成長はあくまで手段、数値より心の豊かさを重視する」人間中心の思想だ。実際ブータンでは、物は乏しくとも国民の九十七%が幸せを実感している。仏教に根差した調和の心と精神文化、そして固有の伝統文化に矜持を持つ品位がそこにはある。▽一方、経済的には遥かに豊かな我国では、大企業の御曹司が巨額をカジノに費やしたと報じられている。友好国の国難に際し、厳しい台所から支援金を拠出する思いやりの心と比べ、何とも恥ずかしい話だ。▽『経済成長自体が国家の目標であってはならない。目標はただ一つ、国民の幸せに尽きる。経済成長は幸せを求めるために必要な数多い手段の一つでしかない。富の増加が幸福に直接繋がると考えるのは間違いである。』前国王の言は、ともすると経済至上主義に陥りがちな、そして震災復興に直面している日本にとって大きな指針となり得るのではないか。「幸せとは何か」を考え、ブータンに学ぶべきことは多い。

言挙げ④

新年の準備と巫女さん

権柄宜 和田 恵梨子



師走を迎えて、本年も残すところあと一カ月となりまして。朝晩の冷え込みは一段と厳しくなり、夏の暑さに参っていたのが嘘のようです。私事ですが、今年で秋田の冬も七回目となり、年々寒さ対策も万全になってきました。相変わらず長く厳しい秋田の冬ですが、今年こそは暖冬であるようにと祈りつつ、日々過ごしております。

ため説明会では着装後に実際に体を動かしてもらいます。苦勞する動作は、正座の状態から立つ動作と階段昇降のようです。階段では下りは容易に歩けますが、上りは袴を踏みやすく躓く人が多いようです。

神社では秋になると毎年地元の高校生、大学生を中心に年末年始の巫女奉仕希望者を募集します。そして十二月上旬には新人の巫女さんのための説明会、一日研修を行っています。説明会では挨拶、お参りの作法から始まり、着付け、巫女姿での立ち居振る舞いを教わります。個人差もありますが、袴姿での作業・移動をするには慣れるまでに少し時間がかかります。その

人もいます。経験者の巫女さんは対応にも余裕があり頼もしさを感じますが、初めて奉仕する新人の巫女さんは皆とても緊張しています。奉仕初日、先輩が新人の巫女さんに対応の仕方をアドバイスし、後輩の巫女さんは真剣な表情で説明を聞いています。毎年お参りの方の中には、そんなやりとりをご覧になった方もいるのでは



ないでしょうか。二年、三年と奉仕経験を積み、テキパキと応対出来る先輩は、新人の巫女さんにとって頼れるお姉さんであり、憧れの先輩です。先輩の活躍を見て、少しでも近づけるように頑張つて奉仕に励んでいます。

迎えて参ります。皆様のご参拝を心よりお待ちしております。





遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

神宮大麻（じんぐうたいいま）
神宮のお札（大麻）は、古くは伊勢の御師（おんし）により全国に配布されていましたが、神宮の御神前で拝礼するのと同様に、広く国民が各ご家庭でも毎朝夕にお参りできるようなという明治天皇の思召により、神宮から各地にお頒ち（おわかち）することとなりました。
神道では生命力（いのち）の蘇りを大切に考えます。一年間お守り頂いたお札は、感謝の意を込めて神社に納め、全てのものがあらたまる新年には、新たなご神霊（神さまのお力）を頂いて一年を無事に過ごせるよう、新たに神宮大麻と氏神様のお札を受け神棚におまつりいたしましょう。
神宮大麻はお近くの氏神様で授与しております。

お伊勢さん
22

伊勢神宮で行われる第六十二回式年遷宮（平成二十五年）に関する企画



神宮大麻と神棚

© 神宮司庁



大麻曆奉製始祭

※当社では、神宮大麻と神棚をお持ちでない方に、簡易神棚を差上げております。

第62回神宮式年遷宮奉祝

伊勢神宮参宮旅行のご案内

当社では、20年に1度行われる伊勢の神宮式年遷宮を奉祝し、下記の通り参宮旅行を行います。詳細については今後決定となりますが、新しい内宮・外宮の御正殿御垣内で正式参拝を行う貴重な機会となりますので、是非ご参加下さい。

- 時 期：平成26年3月初旬頃
- 日 程：3泊4日
- 参加費：12万円程度
- 参加人員：40名予定（状況により増員いたします）
- 旅 程：

初 日 秋田空港→羽田経由（新幹線・電車）→ 二見興玉神社 → 伊勢神宮（外宮正式参拝）→ おかげ横丁散策（伊勢泊）

2日目 伊勢神宮（内宮正式参拝 御神楽）
～以降の旅程については、京都方面の社寺参拝を中心に、参加者の要望もふまえ決定いたします。

※ご希望の方には、旅行積立もございますので、気軽にお問合わせ下さい。（係 和田）



© 神宮司庁

伊勢神宮



平安神宮

厄年・年祝いのご案内

厄年や還暦・古稀などの年祝いを迎えられる方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

平成24年(壬辰) 厄年・年祝い一覧

生まれた年	えと	男性	女性	年齢(かぞえ)
大正3年生	寅(とら)	白寿(はくじゅ)		99歳
大正12年生	亥(いのしし)	卒寿(そつじゅ)		90歳
大正14年生	丑(うし)	米寿(べいじゅ)		88歳
昭和8年生	酉(とり)	傘寿(さんじゅ)		80歳
昭和11年生	子(ねずみ)	喜寿(きじゅ)		77歳
昭和18年生	未(ひつじ)	古稀(こき)		70歳
昭和26年生	卯(うさぎ)	後厄		62歳
昭和27年生	辰(たつ)	還暦(かんれき 大厄)		61歳
昭和28年生	巳(へび)	前厄		60歳
昭和45年生	戊(いぬ)	後厄		43歳
昭和46年生	亥(いのしし)	大厄	厄	42歳
昭和47年生	子(ねずみ)	前厄		41歳
昭和50年生	卯(うさぎ)		後厄	38歳
昭和51年生	辰(たつ)	厄	大厄	37歳
昭和52年生	巳(へび)		前厄	36歳
昭和54年生	未(ひつじ)		後厄	34歳
昭和55年生	申(さる)	厄	大厄	33歳
昭和56年生	酉(とり)		前厄	32歳
昭和62年生	卯(うさぎ)	後厄		26歳
昭和63年生	辰(たつ)	大厄	厄	25歳
平成元年生	巳(へび)	前厄		24歳
平成4年生	申(さる)	成人		満20歳
平成5年生	酉(とり)		後厄	20歳
平成6年生	戌(いぬ)	厄	大厄	19歳
平成7年生	亥(いのしし)		前厄	18歳
平成12年生	辰(たつ)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず
新年を迎えると一つ年をとりまします。



どんと祭

1月29日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、また古くなったお札・お守りをお焚き上げいたします。当日ご都合の悪い方は、予め神社所定の位置にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

- 人形類は10月の人形感謝祭にお持ち下さい。
- 環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

みよしスケッチ



直会



当日祭

秋季例大祭（十月十六日・十七日）
多くのご参列を頂き、厳粛
裡に祭事を斎行いたしました。



手形山幼稚園の園児約八十
名をご招待しました。

園児お茶会（十月四日）



閉山祭（九月十七日）
神人奉仕により、御神体を
里宮に遷御いたしました。



使わなくなった印鑑や表札
を供養いたしました。

印章供養祭（十月一日）



人形感謝祭（十月一日）
愛着ある人形に感謝し、
お焚き上げ神事を行いました。



七五三詣
今年お祝いを迎えたお子さ
んにお参り頂きました。

歩こう会 (十月二十二日)

日吉八幡神社・鱗勝院様を参拝し、約十二キロを歩きました。



大麻・暦頒布始祭 (十一月九日)

明年の神宮大麻・暦の頒布始祭を行いました。



自衛警備隊結成総会 (十一月十七日)

梵天祭等の安全確保にお力添え頂く新生警備隊の結成総会を行いました。



梵天打合せ会 (十二月十四日)

明年の梵天奉納について打合せを行いました。



御手洗にベンチを設置頂く

この度、太平山登山道で最も利用者の多い旭又コースの御手洗(みたらし)に、秋田大学職員山の会様より、設立五十周年記念事業としてベンチ一式を設置頂きました。御手洗は冷たい湧き水もある登山者格好の休憩所で、同会様には、十年毎に記念事業として一式を新調頂いております。今回は腐食が進んだ二十年前のものにかわり新たに設置を頂きました。マナーを守り、大切に使用させて頂きたいと思っております。



秋田大学職員山の会様には、心より深謝申し上げます。

奉納者ご芳名

一、齋館スリッパ一式
加賀谷 和子様



人事

責任役員就任 (十月一日付)
千田 邦 宏様

同 退任 (九月三十日付)
利部 秀 弘様

神社自衛警備隊
(十一月十七日付就任)

隊長 佐藤 金作様

副隊長 熊谷 金栄様

班 長 湯沢 誠一様

松本 克弘様

川辺 功 様

藤澤 成和様

鎌田 正 様

児玉 榮治様

保泉 隆 様

平成24年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(日)	午前零時	歳旦祭	国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(火)	神事 午前6時	梵天祭	力の神である《三吉霊神》にあやかろうと威勢良く先陣を争い梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事
	奉納 午前10時~正午		
1月29日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札、お守、縁起物をお焚上げいたします(4頁参照)
2月3日(金)	午前10時	節分祭	福豆をまき供え、除災招福を祈ります
2月11日(土)	午前10時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、日本の繁栄と世界平和を祈念いたします
5月7日(月)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡や家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(火)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月初旬		太平山山小屋開所	これより10月初旬までの4ヶ月間山頂に神職・関係者が常駐いたします
6月30日(土)	午後3時	夏越の大祓	上半期の節目に当たり、自分の罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを、形代(かたしろ)に託して祓い清め、心身ともに清々しく新年を迎えるための節目の神事でございます。

ご多忙の折とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

一、日時 平成二十三年十二月三十一日(土) 午後二時

一、於 太平山三吉神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。



※形代(かたしろ)は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。



がんばろう!!
東北。



秋田市赤沼

林 凡 天 祭

ぼんでん

平成24年1月17日(火曜)

○神事：午前6時～ ○奉納時間/午前10:30～正午

太平山三吉神社総本宮
秋田県秋田市赤沼字赤沼3-2 TEL:013-334-3443 http://www.miyoshi.or.jp

みちのくの心を願う

厳冬の一月、雪国の静寂を打ち破って秋田の冬を無り「ぼんでん」が始まる。力の神・勝負の神を祀る太平山三吉神社の例祭に奉納される梵天は八十本余り。意匠をこらした梵天は、數十人の男たちを従え、雷の町を練った後、神社に集結する。「人に押し負け大きらい」と三百郎も高らかに、法螺貝と「ジョヤサ」の掛け声が勇ましく轟くなか、万を越す観衆の前へ、十余りの梵天が踊り乱れ、男たちは涙となって激しくもみ合う。東日本大震災被災地の復興と安寧への祈りもこめて、一年の幸を願う熱い祭は、今年も一足早い春を呼ぶ。

東日本大震災復興祈願

